



第46回 鉄構塗装技術討論会 開催のご案内

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

協 賛

(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁建設協会
(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 (一社)日本鉄鋼協会
(一社)日本塗装技術協会 (一社)日本塗料工業会
(一財)日本塗料検査協会
(公社)腐食防食学会 (公財)スガウエザリング技術振興財団

■本討論会は土木学会認定 CPD プログラムです。



[認定番号：10月19日 JSCE23-1287・10月20日 JSCE23-1288]

インフラ構造物は人々の命や暮らしを守り、社会・経済活動を支える重要な社会基盤であり、災害時にもその機能を発揮することが求められます。これらの多くは高度経済成長期以降に集中的に整備されており、今後、建設から50年以上経過する老朽化施設が加速的に増加していきませんが、老朽化によるインフラの機能不全を招かぬためには、平時から計画的に維持管理・更新を進めていかなければなりません。このことから、インフラ構造物の維持管理・更新の生産性向上や高度化、効率化に資する技術への期待はますます高まっており、鋼構造物を腐食から守る防食技術が担う役割は今後一層大きくなるものと思われます。

各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって鋼材の防錆防食技術として適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

本討論会は、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように、鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。次頁の要領にて開催いたしますので、ふるってご参加くださいますよう、また、関係各位へのご連絡ともども宜しく願いいたします。

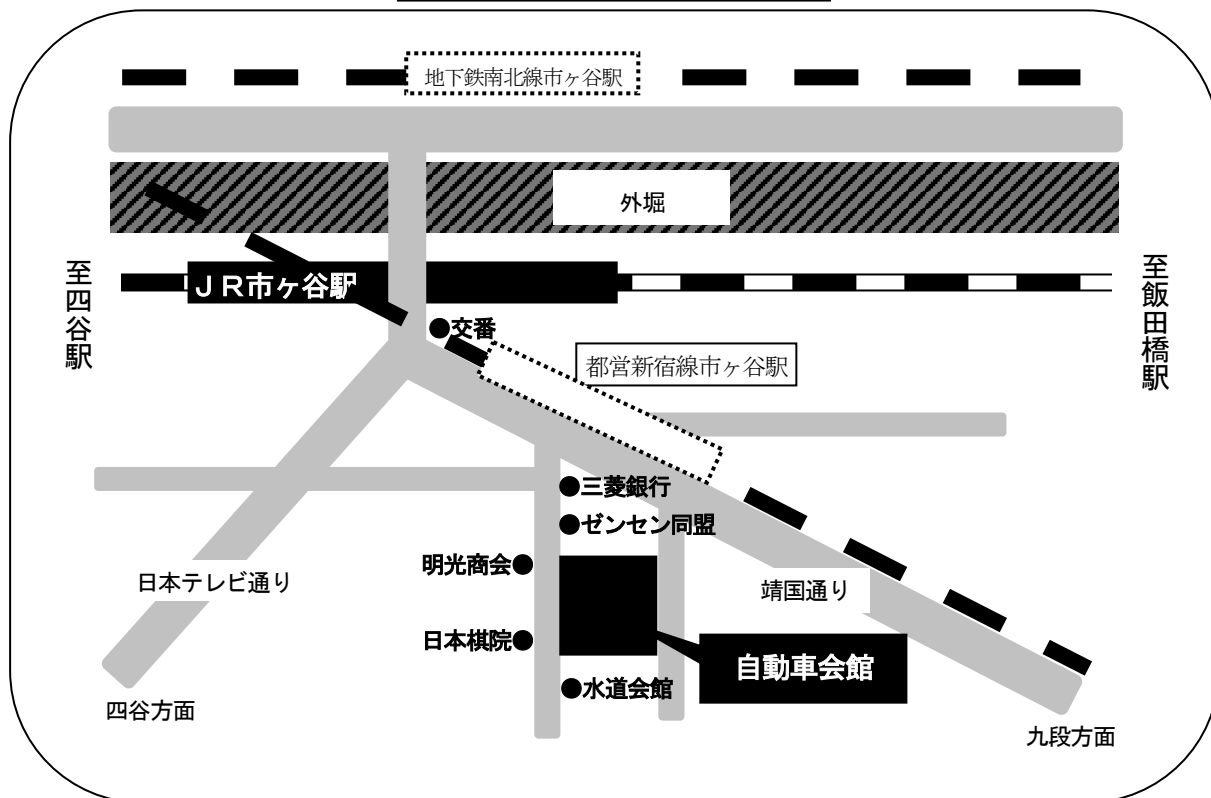
今年度も本討論会へ多数の御参加をいただきますよう、宜しく願いいたします。

鉄構塗装技術討論会実行委員長：富山 禎仁（鋼構造物塗装小委員会委員長）

開催要領

1. 日 時：2023年10月19日(木)～20日(金)
2. 会 場：自動車会館 2階 大会議室
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 (電話) 03-3264-4719
3. 参加費：会員(協賛団体も含む)…11,000円(消費税込み)
一般…14,300円(消費税込み)
官公庁職員・学生…11,000円(消費税込み)
4. 申込方法：下記よりお申込下さい。
指定の用紙を協会宛てにメールしてください。
申込期日は、9月29日(金)とします。
※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しは致しませんので
ご注意ください。(後日、討論会発表予稿集を送付させていただきます。)
5. 問合せ先：一般社団法人日本鋼構造協会「第46回鉄構塗装技術討論会」係
【E-mail: jssc-paint@jssc.or.jp】
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 アミノ酸会館ビル3階
TEL. 03-3516-2155

会場案内図



【第1日】 10月19日（木）

10:30~10:35	開会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 委員長：富山 禎仁（（国研）土木研究所）		
司 会：藤城 正樹（日本ペイント㈱）				
①	10:35 ～ 11:05	環境にやさしい塗膜はく離剤工法による塗り替え 塗装適性の評価～沖縄暴露試験 18年後の結果	○臼井 聡 インパiroワンシステム㈱	富山禎仁（（国研）土木研究所）
②	11:05 ～ 11:35	無機ジンクリッチペイントが塗布された鋼桁への IH 塗膜除去工法の適用検証	○島崎 祥登 首都高速道路㈱	大西孝典（首都高速道路㈱） 佐野優里奈（首都高速道路㈱） 政門哲夫（日本エンジニアリング㈱） 稲葉圭亮（日本エンジニアリング㈱） 久保真由（日本エンジニアリング㈱） 山口正晃（首都高メンテナンス東京㈱）

＜ 昼 休：11時35分～12時50分＞

特別講演 （司 会：坂本 達朗（（公財）鉄道総合技術研究所））				
12:50~13:50	鋼構造物維持管理のデジタルトランスフォーメーション（DX）		株式会社 ベイシスコンサルティング 研究開発室 チーフリサーチャー 阿部 雅人	

＜ 休 憩：13時50分～14時05分＞

司 会：松野 英則（大日本塗料㈱）				
③	14:05 ～ 14:35	腐食環境の厳しい場所（沖縄地区）における鋼構造物 試験体溶射施工部の補修仕様耐久性確認試験 （13年後調査報告）	○大庭 哲也 （一社）日本橋梁建設協会	花輪 務（（一社）日本橋梁建設協会） 平野 晃（（一社）日本橋梁建設協会） 富山禎仁（（国研）土木研究所）
④	14:35 ～ 15:05	無機ジンクリッチペイント仕様の摩擦接合継手の 断面観察	○三ツ木 幸子 i エンジニアリング㈱	酒井武志（機巴コーポレーション） 杉本悠真（岩手大学） 佐倉 亮（大阪公立大学） 富山禎仁（（国研）土木研究所）

＜ 休 憩：15時05分～15時20分＞

司 会：松本 洋明（日鉄防食㈱）				
⑤	15:20 ～ 15:50	水性防食塗料技術の開発	○雲林院 崇宏 日本ペイント㈱	
⑥	15:50 ～ 16:20	送風機を用いた寒冷地用塗料施工時の結露対策 に関する検討（その2）－模擬橋梁試験体の暴露 11年後試験結果－	○石川 隆士 日本ペイント㈱	田代 稔（神東塗料㈱） 藪見尚輝（大日本塗料㈱） 壁谷康平（関西ペイント㈱） 小林泰之（中国塗料㈱） 富山禎仁（（国研）土木研究所） 島袋智尋（（国研）土木研究所） 林田 宏（（国研）土木研究所）
⑦	16:20 ～ 16:50	実橋梁を用いた寒冷地用塗料の塗替え施工性に関 する検討（その2）	○田代 稔 神東塗料㈱	富山禎仁（（国研）土木研究所） 島袋智尋（（国研）土木研究所） 壁谷康平（関西ペイント㈱） 小林泰之（中国塗料㈱） 藪見尚輝（大日本塗料㈱） 石川隆士（日本ペイント㈱） 林田 宏（（国研）土木研究所）

◆17時00分～19時00分 ~~懇親会~~（場所：2F小会議室）（中止）

【第2日】 10月20日（金）

司会：田代 稔（神東塗料株）			
⑧	10:30 ～ 11:00	画像処理と塗膜劣化曲線を利用した防食性評価	○水篠 孝太郎 株IHI 北村俊也（株IHI） 赤嶺健一（株IHI） 湯瀬文雄（株神戸製鋼所） 松林拓人（株神戸製鋼所）
⑨	11:00 ～ 11:30	ISO 12944-9に基づくスクライブラインを入れた塗装鋼板における各種耐食性試験の比較	○比留川 伸司 （一財）日本塗料検査協会 石塚 敦（（一財）日本塗料検査協会）

＜昼 休：11時30分～12時45分＞

特別講演		（司会：富山 禎仁（前掲））
12:45～13:45	有機ふっ素化合物（PFAS）規制の最新の動向（仮）	日本フルオロケミカルプロダクト協議会 （AGC株式会社 化学品カンパニー 機能化学品事業本部戦略企画部 環境企画グループ リーダー） 松岡 康彦

＜休 憩：13時45分～14時00分＞

司会：井合 雄一（株IHI）			
⑩	14:00 ～ 14:30	プラストした腐食鋼材に残留する塩分を低減可能な塗布型可剥材料の性能評価	○坂本 達朗 （公財）鉄道総合技術研究所 藤川祥汰（大伸化学株） 水谷健人（大伸化学株） 鈴鹿健志（オー・ジー株） 小寺健史（極東メタリコン工業株） 和田直樹（西日本旅客鉄道株） 松本奎哉（西日本旅客鉄道株）
⑪	14:30 ～ 15:00	重防食シート工法の性能と施工事例	○吉田 新 大日本塗料株 田邊康孝（大日本塗料株）

＜休 憩：15時00分～15時15分＞

司会：大庭 哲也（日本ファブテック株）			
⑫	15:15 ～ 15:45	水性重防食システムの開発	○永吉 沙希 関西ペイント株 太田伶美（関西ペイント株） 壁谷康平（関西ペイント株） 三谷 誠（関西ペイント株） 松田英樹（関西ペイント株）
⑬	15:45 ～ 16:15	塗膜下腐食の進展メカニズムと塗装周期延長鋼	○菅江 清信 日本製鉄株 大塚康代（日本製鉄株） 徳田郁美（日本製鉄株） 上村隆之（日鉄総研株）
⑭	16:15 ～ 16:45	米国道路橋の防食技術に関する最近の傾向	○片脇 清士 合同会社管理技術 〃
16:45～16:50	閉会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 幹事長：坂本 達朗（前掲）	